

9月1日に「のぎき消化器IBDクリニック」を開院

野崎良一医師

元大腸肛門病センター
1高野病院理事・副院長の野崎良一医師(62歳)は、9月1日、上益城郡益城町に「のぎき消化器IBDクリニック」を開院した。

長室、スタッフルームなどを配置。スタッフは10人で駐車場は25台収容。診療科目は内科、消化器内科、胃腸内科、内視鏡内科、肛門内科。

敷地面積は約1650㎡、建物は木造一部2階建てで延床面積は495㎡。1階には診療室2室、エコー室1室、レントゲン室1室、内視鏡室2室、処置室(ベッド4床)、IBD(炎症性腸疾患)特殊点滴室3室、2階には院

野崎院長は「①IBD ②消化器内視鏡の検査治療③一般内科を通しての地域医療への貢献の3つを運営の柱とし、患者さんに寄り添った医療機関を目指したい。また専門性の高いクリニックとして地域医療へ貢献し、先駆的な医療を実践したい」と話した。



▶野崎院長は天草市五和町出身、天草高校—自治医科大学医学部卒。1993年大腸肛門病センター—高野病院入職、95年副院長、99年理事

◀最新式の検査機器・内視鏡挿入形状観測システムを備えた内視鏡室



▶クリニックを益城町の県道小池竜田線東側に開院